

ロータリー財団にご寄付いただいた藤田守彦さんにマルチプルポールハリスフェロー4回目の表彰バッジを伝達致しました。



ガバナー補佐ご挨拶
西名古屋区分ガバナー補佐 大橋昭治



この度図らずもガバナー補佐の大役をご指名いただき、責任の重さを痛感いたしております。担当する西名古屋区分は、「名古屋RC」を筆頭に伝統あるクラブと、その会員数、出席率、ロータリー活動への貢献度においても、指導的な分区分であります。こうした伝統と貢献をさらに発展するよう微力ながら努力する覚悟であります。幸い次年度は国際ロータリーの会長に日本の田中作次氏が就任され当地区のガバナーも同じ名古屋ご出身の千田毅様であります。

お聞きし、説明を受けた次年度の「テーマ」も非常にわかりやすく共感を覚えるものばかりでありました。そうした環境下の次年度は今まで以上に前進するロータリーであり躍進するロータリーであることを願っています。各クラブの会長・幹事様をはじめ皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「本年度こそ 5,000 人を！」

昨年度の松前憲典ガバナーは、会員増強を地区の大きなテーマとして掲げられ、久しく減少が続いていた2760地区に「5000人の会員」を目標を示されました。ロータリー会員各位の努力で年度末には、一定の成果は見られたものの、当初人数4809名からの200人の増加は実現出来ませんでした。

しかし、声を大にして語られた

- 1.退会防止
- 2.各クラブに女性会員の増強
- 3.若手会員の増強
- 4.会員数30名以下のクラブの会員増強

5.クラブ会員の多様性

これらは、確実に地区の会員一人一人に浸透出来たものと確信しております。

さて本年度千田毅ガバナーも『Touch the Rotary』『ふれあい、思いやり、そして握手』の基本理念のもとその具体策の最初に会員増強をあげられておられます。もちろん昨年度には達成出来なかった5000名に再度挑もうと決意を述べられておられます。

私はロータリークラブが他の奉仕団体とは異なり、喜んで会員となり誇りを持って活動する「ステータス」のある団体である事が必要であると考えております。それには会員個人が自分を磨くことはもとより、ロータリーの奉仕活動を広く地域の人々に理解いただく努力を続けることが大切だと考えております。

本年第1回増強セミナーの各分区分毎のグループ討論では、白熱した討論、意見交換が展開され、会員増強に対するきわめて積極的な数字が示されました。私から各クラブにお願いすることはただ一つ、どのクラブも一人の減少もしない事、そして予定した純増数に向けて努力をしていただきたい。そうすれば5000名に到達することは困難ではないと思います。個々の努力は無論のこと、クラブが一体となって、推し進めていただきたいものだと考えております。

それでは、このロータリークラブでも新しい会員がおみえになると思いますので、最初にこのクラブの「立ち位置」と申しますか2760地区について少しお話申し上げます。RI国際ロータリーは日本を3つのゾーンに分け34の地域すなわち地区に分割しております。

そこに一人ずつのガバナーがいらっしゃいます。

日本で34ですので県に1つの地区があるわけではありません。1987年より2760地区は愛知県単独で1地区となりました。

皆様十分ご承知の通り、この2760地区は尾張に3つ三河に3つ名古屋に2つ合計8つの分区分に分かれています。それぞれの分区分にはガバナー補佐が選出されており、しばらく前まではこの名称も「分区分代理」と呼んでおりました。

ガバナー公式訪問がグループ化され、クラブアッセンブリもガバナー補佐訪問の時にのみ行われることとなり、ガバナー補佐の責任も重くなりました。

「ロータリーの友」の資料によりますと6月末現在日本の34地区にあるRCの数は約2300、会員数は89,000人ほどですが、当2760地区は全国1位で82クラブ4800人余りの会員がいます。

出席率も1位で95%ときわめてまじめな地区であります。

ロータリー財団の活動で申し上げますと、財団では近年「未来の夢計画」と銘うってプログラムを大きく変更しようとしております。2010年7月より世界531地区のうち100地区が試験段階に入り来年7月からは世界全地区で新制度に移行します。2760地区はその試験地区(パイロット地区)に選ばれ、優れた成果を上げています。

人数が多いことは財団・米山の寄付行為にも現れており、当地区はまさに日本をリードするロータリークラブの地

区である事がお解かり頂けるのではないかと思います。さて 2760 地区の中の西名古屋分区に目を転じますとこの分区は13クラブ1095名のロータリアンがおられます。出席率はトップではありませんが、断然トップの会員数です。この分区には大正14年日本で3番目に創設の「名古屋クラブ」を筆頭に「西・南」クラブのような伝統あるクラブや、「栄・名南」のような夜間例会のクラブ、「中部みらいクラブ」のような特徴を持ったクラブなどで構成されています。ただ会員増強が叫ばれている今日、女性会員ゼロのクラブが7つも存在するという面も持ち合わせた分区であります。

話をもどしますとすなわち 2760 地区が日本一の地区であるなら、この西名古屋分区はその指導力、伝統力において最高位、最大勢力の分区と言っても過言ではありません。それだけに自己を磨き、クラブの活動を活発化し、ロータリアンの模範となるよう求められています。現在の我々の「立ち位置」を長々とお話いたしました、ベテランの会員にはお聞き苦しい内容ではなかったかと思いますが、お許しください。



さて今年度 RI 会長は田中作次さんです。日本人としては30年ぶり3人目の会長です。すでに昨年より「ロータリーの友」でたびたび掲載されており、また新年度7月号ではその「人となり」が詳しく報じられています。その文面と写真から自然とほほえみを感じずる人柄の方です。未だの方はぜひご一読願います。

会長は1月に「奉仕を通じて平和を」を今年度の RI テーマとして選んだことを発表されました。

「平和とは政府間の協定や英雄的な闘争を通してだけ達成されるものではなく、私たちの日々のささやかな行いの積み重ねによって成し遂げられるものです」と。平和と紛争解決は、まずは家庭から実践すべきことです。家族全員の平和であればもっと多くの人の平和へと発展していくはず。と。大変哲学的で暗示の富んだ言葉が続きますので、私の解説はこれまでとし、原文に当たられることをお願いします。

一つだけ、世界フォーラム開催について、私はこの開催地が「国境のない平和」と題したドイツのベルリンで始まり米国ハワイで来年1月そして年度も押し詰まった5月「平和はあなたからはじまる」と題して日本の広島で開催されることは田中会長のテーマとあいまって会長の強い決意を感じました。

決して欧米の会長では出来ない発想であり開催地であ

ると感じました。皆様も広島へ出かけましょう！

さて、本年度の当地区ガバナーは名古屋東 RC の千田毅さんです。東クラブでは41年ぶり2人目のガバナーだそうです。医者5人兄弟の3男で本人を除いてはすべてお医者さんであり、お子様2人を含めて21人がお医者さんという医者一族です。そんな家庭環境からか、今年の会長のテーマは、「温かくして、愛情で包み込むような」感が致します。

「ふれあい、思いやりを持って行動してください。握手、強くもって強く、一人一人が向き合いながら触れ合ってください。相手の体温を感じながらタッチして友情を深めて下さい」と強調されています。

●東日本大震災 被災高校生支援について

来年4月入学の被災高校生を3年間支援しよう！

ワンコイン60人組で高校生一人を支援しよう！

目に見える支援活動として相互の理解のもと相互交流を図ろう！

「愛知県にもお父さん、お母さんがいるんだよ」と彼等に寄り添い、心の支えになろうというプログラムであります。幸い西名古屋分区はほとんど60名以上のクラブですので「1クラブが1人は受け持とう」とクラブ協議会でご協議いただきました。

これから3年間よろしく願いいたします。

つなごう ONE COIN で 心の輪を！

●地区内交流の活性化

メイクアップが少なくなった今ごろ、同じ2760地区でも他のクラブの様子はさっぱりわからないのが現実です。

もっと他の分区の実情を知ろう！

そうした趣旨でこの事業をテーマとされました。

西名古屋分区は東三河分区と交流が決まっています。

さらに各クラブでは抽選により相手のクラブが決まっています。例えば会員200名近い名古屋クラブが一番遠い48名の新城であるとか、やはり名古屋から2時間の田原 RC は私ども名駅 RC が相手になるなどいろいろ面白い組み合わせもあります。

西名古屋分区の RC はほとんどホテルで行われていますが、銀行の会議室とか商工会議所で机並べや、弁当の手配などをごらん頂くのもこのプロジェクトの意味ではなかろうかと思えますし、お互いの問題点を話し合われるのも意味あることだと考えます。

貴クラブは豊橋南 RC が相手クラブで例会日は月曜日です。



●会員増強について

4月15日地区協議会後に開催された「会員増強セミナー」で会員増強・退会防止の問題点等を会長・幹事・増強委員長とご相談し、今年度増強目標の純増数をお聞きし合計いたしました。西名古屋分区分体で40名の純増という数字となりました。新年度の会長さん以下の意気込みを痛感いたしました次第です。

私事で申し訳ありませんが、私は会員増強委員会の担当ガバナー補佐でもあります。少なくとも1クラブでも減少だけのご勘弁願いたいと、増強セミナーでお願いをしております。よろしくご協力ください。

●オンツースポ

ガバナー方針の最期に掲げられているのは、オンツースポであります。毎年世界のどこかの国、どこかの町で国際大会が開かれます。ガバナー自らがこれを発言されたのは、田中作次RIの会長を盛り立てようとのご配慮からだと思えます。

リスボンでは千田ガバナー主催の「晩餐会」も予定され、ひょっとしたらRI会長も顔を出されるかもしれないとの事です。ぜひこの機会に大西洋東岸で日本にも関係深いポルトガル・リスボンにお出かけになってはいかがでしょうか？

ガバナー訪問で千田ガバナーが何をお話いただくのかわかりませんが、そのお人柄に触れるチャンスです。ご本人からテーマの詳しい説明もあるかもしれません。どうぞガバナー訪問を楽しみにお待ちしております。最後に来年2月に開催予定のIM(インターシティミーティング)についてお知らせいたします。

●IMについて

2013年2月20日(水)

名古屋マリOTTアソシアホテルにて開催

IMのテーマは「奉仕と親睦 ～ロータリーをもっと知ろう、話そう、感じよう～」

ガバナー方針をより具体的に表示したものです。

IMは「近隣都市数クラブが集まって親睦、情報教育と意見交換の会合」とあります。この趣旨に沿いその原点に立ち帰り、各クラブ手作りの発表形式の報告会にしたいと考えています。クラブの現況報告でもよければ、奉仕活動の報告、あるいは親睦活動・同好会・趣味の会の報告、財団新地区補助金対象事業の報告なんでも結構です。「クラブ自慢」を発表の場で、懇親会の場で、ご披露ください。10分程度の発表時間です。発表に関するプレゼン用費用(パワーポイント制作費等)につきましては限度内で用意いたしますので奮ってエントリーください。詳細は後日紙面でご連絡申し上げます。

以上でガバナー補佐ご挨拶を終わります。ご清聴ありがとうございました。

クラブアッセンブリ

日時:平成24年8月30日(木) 13:35~15:00

場所:名古屋クレストンホテル クラウンルーム

出席者:

大橋昭治ガバナー補佐

浜 洋一地区副幹事

黒川益次分区分副幹事

藤田守彦、西川 博、長谷川龍伸、川原弘久、磯部 徹
堀江俊通、大岩とよみ、成田勝彦、水野裕善、田島陽介
岩田 宏、池井戸貞夫、和田直美、森田正樹、若原正幸
渡邊徹雄、安江英雄

